

被告 しで

明治十八年第九何百何號五月十五日前件ノ訴訟ハ判事何ノ誰ノ審問アリタル處被告ハ原告ヘ損害金二千圓及訴訟入費五百圓ヲ仕拂フヘキモノ也トノ裁判アリタルニ依リ原告ハ被告ニ對シ損害金二千圓及訴訟入費二百五十圓ヲ要求スヘキ權利アルヲ茲ニ申渡スモノ也

東京始審裁判所

○第十一 執行狀下附願雛形

番號

裁判所ノ名

原告 ゑび

被告 しで

前件訴訟ニ於テ被告しでニ對シ損害金二千圓訴訟入費二百五十圓及

右金額ニ五月十五日ヨリ仕拂ノ日マテ年六朱ノ割合ニテ利子ヲ付シタル金額ヲ取立ツル爲メ東京始審裁判所ノ執行官ニ宛テタル「ふねりふねしおす」ノ令狀ヲ御發シ被下度奉願上候也  
裁判言渡日附 明治十八年何月何日  
訴訟入費取調書日附 明治十八年何月何日  
原告代言人何某

○第十二 「ふねりふねしおす」ノ令狀雛形

番號

裁判所ノ名

原告 ゑび

被告 しで

東京始審裁判所執行官ヘ

其方ノ管轄内ニ於テ原告スルビヨリ被告シデニ係ル訴訟ニ於テ明治十八年五月十五日東京始審裁判所ニ於テ裁判アリタル損害金二千圓右五月十五日ヨリ仕拂期日迄年六朱ノ利子ヲ加ヘ及五月十五日附訴訟入費取調ノ通二百五十圓ヲ取立ツル爲メシデノ財産ニ對シ之ヲ取立ツルヘシ

且右二百五十圓ノ入費ニ關シ右取調ノ日附ナル五月十五日ヨリ起算シタル六朱ノ利子モ共ニ取立ツルヘシ而シテ如何ナル手續ニ依リテ之ヲ執行スルカヲ届出テ且此令狀ヲ返納スヘシ

東京始審裁判所判事何誰明治十八年五月二十七日東京ニ於テ之ヲ證ス

○第十三 召喚狀特別裏書雛形  
番號

裁判所ノ名

原告 系び  
被告 しで

原告ハ賣付物品ノ爲メ代金三百圓訴訟入費十五圓ヲ請求スルモノナリ若シ此召喚狀ノ送達アリタルヨリ四日内ニ右ノ金額ヲ原告若クハ原告代言人ヘ仕拂フ時ハ此後ノ手續ヲ見合スヘシ右金額ノ明細書左ノ如シ

一 肉類代金 百六十圓也

一 明治十八年一月一日ヨリ三月三十一日迄  
肉類代金 三百五十圓也

合計金五百十圓也

一 明治十八年二月一日拂込二百圓也

右差引金三百十圓也

殘金

此令狀ハ云々前雛形ニ同シ

○第十四 缺席裁判言渡書ノ雛形

番號

裁判所ノ名

原告

ゑび

被告

しで

明治十八年二月二十六日

被告ハ前件ノ令狀ニ對シ出頭届ヲ爲サ、ルニ依リ茲ニ原告ハ被告ニ對シ其請求スル所ノ三百圓并ニ訴訟入費十五圓ヲ請求スル權利アルモノナルコトヲ判定ス

(注意) 以上示ス所ノ書式雛形ハ前後月日ノ不揃且單ニ年月日ト記

セルモノハ諸君ヲシテ自ラ推考ノ上記入セシメン爲メ故ラニ斯ク記スルモノナリ凡テ前講義中ニ参照シテ自ラ研究スル所アルヘシ

訴狀

以下示ス所ノ雛形ハ遺產處分ノ訴訟ニ係ル式ナリ

○第十五 訴狀雛形

番號

裁判所ノ名

原告

甲

被告

乙

死者甲遺產處分ノ件

第一條 東京府麴町區五番町一番地土族甲某ハ遺言證書ヲ作ラスシテ明治十九年一月五日ニ死去セリ其遺產處分人ハ被告乙某ナリ

第二條 死者甲ハ東京府多摩郡ニ於テ數町ノ田地ヲ有シ且其他種々ノ動産及不動産ヲ有セリ  
 被告ハ甲ノ田地ヲ請取リ其地代ヲ領收セリ  
 右田地ニ係ル「りー」ガる「ぬすてーど」ハ曾テ甲ノ書入タル書入證書ニ依リ未タ書入中ナリ  
 第三條 甲ハ曾テ婚姻シタル事ナシ其死ニ先テ死シタル弟丙一人及又先ツテ死シタル二人ノ姉丁及妹戊ノ親戚アルノミ  
 原告ハ丁ノ獨子ニシテ而シテ被告ハ戊ノ獨子ナリ  
 依テ原告ノ請求スル所左ノ如シ  
 第一 御廳ニ於テ甲ノ動産不動産ヲ處分シ且其指圖ヲ與ヘ其分配計算ヲ御取調アリ度事  
 第二 甲所有地所ノ地代ヲ受取ル爲メ其受取人ヲ命セラレ度事

第三 其他本件ノ性質ニ依リ何ニ限ラス必要ナル御裁判有之度事  
 ○第十六 答書雛形

番號  
 裁判所ノ名

原告 甲  
 被告 乙

第一條 原告ハ丁ノ私生ノ子ニシテ丁ハ曾テ婚姻シタル事ナシ  
 第二條 甲ハ其死スルニ當テ多摩郡大井村地内ニアル田地ノ外一モ不動産ヲ所有シタルコトナシ而シテ其村ノ慣習ニ據ルニ凡ソ田地ノ持主ノ子ナクシテ死シ兄弟ナク又先テ死シタル兄弟ノ子ナキトキハ其田地ハ其姉及子ノ相續スヘキモノニシテ妹及子ノ相續スヘキモノニアラス戊ハ丁ノ妹ナリ

第三條 甲ノ動産ハ其負債ヲ仕拂フニ足ラスシテ既ニ葬式料並ニ遺産處分入費及負債ノ幾分ヲ仕拂フ爲メニ其悉皆ヲ消費セリ

○第十七 再答書「デマラー」ノ性質ヲ帶フル者ノ雛形

(被告ノ答書ハ法律上原告ノ請求ニ對シ充分ノ効力ヲ有セサルノ旨ヲ以テ事實ニ據ラス專ラ法律上ヲ以テ答辯セントスル時用ユル答辯法ナリ)

番號

裁判所ノ名

原告 甲

被告 乙

被告ハ原告ノ請求ニ答テ曰ク

原告ノ云ヘル所ハ法律上ニ於テ充分ノ効力ヲ有スル事實ニアラス

何トナレハ雷ニ甲ノ相續人ハ本件ノ相手トシテ訴ヘラレサリシノミナラヌ其他此「デマラー」ヲ支ヘル爲メ充分ナル理由アレハナリ

○第十八 再答書雛形

番號

裁判所ノ名

原告 甲

被告 乙

原告ハ被告ノ答辯ニ對シ茲ニ論點ヲ結フモノナリ

○第十九 裁判言渡書雛形

番號

裁判所ノ名

原告 甲



第二條 右ノ遺言書及其添書ハ同時ニ二人ノ證人ノ面前ニ於テ即遺言書ハ戊己兩人ノ面前ニ添書ハ庚辛兩人ノ面前ニ於テ之ニ記名シ而シテ證人ハ各人ノ面前ニ於テ之ニ記名證印セリ

第三條 證書ヲ作ルニ當テ甲ハ心神清ク且會得力充備セリ依テ原告ハ右ノ遺言書並ニ添書ハ法律ノ式ヲ踏テ作りタルモノナルヲ證明スルノ御命令アラシコトヲ請フ

○第二十一 答書雛形

番號

裁判所ノ名

原告 甲

被告 乙

被告ハ答フル事左ノ如シ

第一條 甲ノ遺言書及其添書ハ法律ニ要スル所ノ正式ヲ履ミ作りタルモノニアラス

第二條 甲ノ該證書ヲ作ルニ當テハ其心神清カラス記臆力完カラス會得力備ハラサリシモノナリ

第三條 該書類タル原告ノ壓制ニ依リテ之ヲ得タルモノニシテ其他當時被告ノ知ラサル人モ同謀シテ之ヲ作ラシメタルモノ也

第四條 右ノ書類ハ原告ノ詐偽ヲ以テ得タルモノニシテ其詳細ハ左ノ如シ

第五條 甲カ之ヲ作ルニ當テ記入スル事柄ノ何タルヲ知ラス且之ヲ

允承シタルコトナシ

第六條 甲ハ明治十七年一月一日付ヲ以テ真正ナル遺言書ヲ作り被告ヲ遺産處分人ニ命シタルカ故ニ被告カ請求スル所左ノ如シ

第一 原告訴狀ニ記入ノ遺言書ヲ取消サレ度事

第二 御廳ハ明治十七年一月一日付ノ證書ハ正式ニ依リ作りタルモノナルヲ御證明アラシムコトヲ請フ

○第二十二 再答書雛形

番號

裁判所ノ名

原告 甲

被告 乙

第一條 原告ハ被告答書ノ第一條第二條第三條第四條及第五條ニ於

テ申立ツル所ニ對シ論點ヲ結フ

第二條 甲ノ明治十七年一月一日付ヲ以テ作りタル遺言證書ハ原告カ訴狀ニ於テ記スル所ノ同十九年一月一日付ヲ以テ作りタル遺言書ノ爲メニ取消サレタル者ナリ

英吉利訴訟法附錄 大尾

明治二十年五月十八日版權免許  
明治二十年九月 出版

定價金七拾錢

著者兼出版人

東京府士族

增島六一郎

府下日本橋區檢物町六番地

所	棚	賣		
福岡縣下博多中間町	埼玉縣下浦和驛	千葉縣下千葉町	大坂備後町四丁目	東京銀坐四丁目
同分社	同分社	同分社	同分社	博聞本社

林書捌賣

東京日本橋通壹丁目  
全 通二丁目  
全 通三丁目  
全 西河岸町  
全 南傳馬町壹丁目  
全 柴井町  
全 兩國吉川町  
全 本町二丁目  
全 横山町二丁目  
全 神田表神保町  
全 麴町三丁目  
全 神田表神保町  
全 神田表神保町  
全 神田表神保町  
全 西河原通烏丸東へ入  
全 佛光寺通烏丸東へ入  
全 河原町通烏丸東へ入  
全 大阪本町四丁目  
全 南久寶寺町  
全 北久寶寺町  
全 横濱北久寶寺町  
全 岡縣下岡山區榮町  
全 肥前長崎引地町

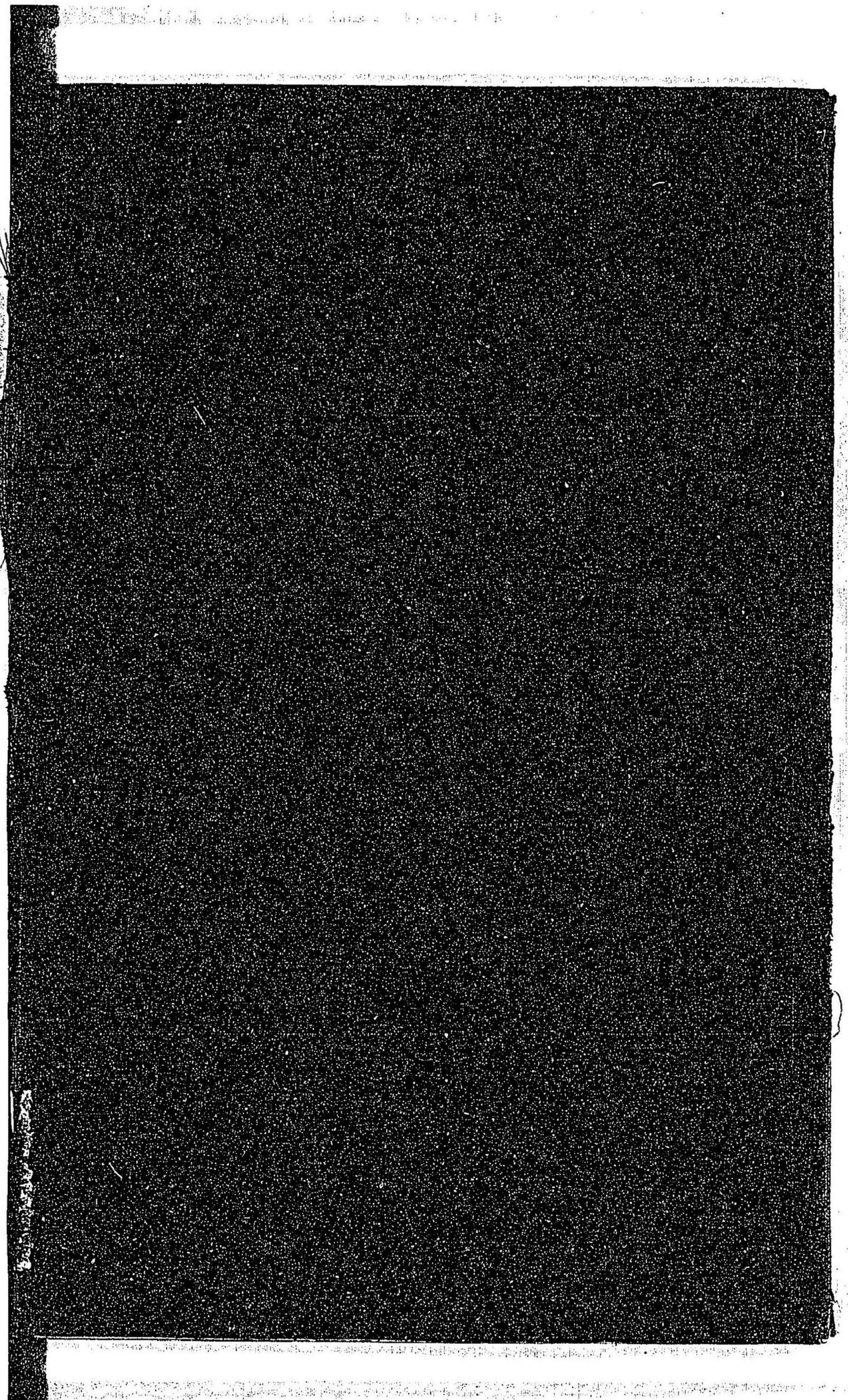
北畠茂兵衛  
大倉孫兵衛  
小倉新兵衛  
山城屋佐兵衛  
丸善書鐵  
須原書鐵  
近江屋半  
松井忠兵衛  
島屋梅次  
柳川彌兵衛  
岩屋彌兵衛  
中屋彌兵衛  
石塚徳太郎  
錦水太郎  
巖水太郎  
村上勘兵衛  
東枝吉兵衛  
大黒屋太郎右衛門  
岡島具  
前川善兵衛  
柳原善兵衛  
丸善書兵衛  
復善書兵衛  
鶴野常藏

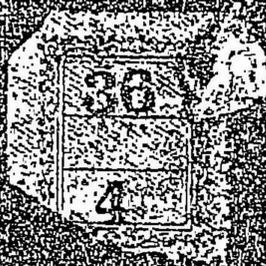
函館大町  
越後新瀉古町通二番町  
越州静岡江川町  
尾州本町  
全 津北堀端  
勢州西田大工町  
江州根田大工町  
濃州根田大工町  
紀州歌山北田町  
越州高岡吳服町  
全 高岡吳服町  
加州金澤尾張町  
越州福井照手町  
備前岡山仲町  
雲州徳島本町  
阿州松島本町  
伊州徳島本町  
全 徳島本町  
肥前熊本新二丁目  
筑前福岡新二丁目  
日向盛岡新二丁目  
陸中盛岡新二丁目  
陸前弘前土手町  
陸前仙臺大町  
野州土浦宮  
常州土浦宮

常野筒嘉兵衛  
井野文林  
廣東四林  
石版四林  
若林堂  
新陽太兵衛  
春陽太兵衛  
津橋太兵衛  
大本多野作  
本野勝作  
岡野左喜  
細野左喜  
園山喜三右衛門  
阪井新藏次  
向井新藏次  
玉井新藏次  
長崎新藏次  
山崎新藏次  
遠山崎  
澤田正貞  
野崎九兵衛  
木村文兵衛  
小日林堂  
柳日林堂

36
1







036592-000-8

36-4

英吉利訴訟法

増島 六一郎 / 著

M20

BBS-0001

